



平成 23 年 6 月 29 日

各 位

会社名 王子製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 篠田 和久  
(コード番号 3861 東証・大証(市場第一部))  
問合せ先 総務部長 水津 健二  
(TEL 03-3563-1111)

### ストックオプション（新株予約権）の発行に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の取締役の株価向上に対する意欲を高め、企業価値の増大を目的として、会社法第 238 条第 1 項及び第 2 項並びに第 240 条第 1 項に従って、昨年に引き続き、当社の取締役に対して、新株予約権の募集事項を決定し、当該新株予約権を引き受ける者の募集等につき決議しましたのでお知らせいたします。

なお、本件については、平成 18 年 6 月 29 日開催の当社第 82 回定時株主総会において取締役の報酬等として承認された新株予約権の個数の範囲、内容に従って行なうものであります。

### 記

#### 1. 新株予約権の名称

王子製紙株式会社第 6 回新株予約権（取締役用）

#### 2. 新株予約権の総数

219 個

割当予定数に対する申込みの総数が上記の総数に達しない場合は、その申込みの総数をもって割り当てる新株予約権の総数とする。

#### 3. 新株予約権の目的である株式の種類及び数

新株予約権の目的である株式の種類は普通株式とし、各新株予約権の目的である株式の数（以下、「付与株式数」という）は 1,000 株とする。

ただし、当社が当社普通株式につき、株式分割（当社普通株式の株式無償割当を含む。以下、株式分割の記載につき同じ）または株式併合を行う場合には、付与株式数を次の算式により調整し、調整の結果生じる 1 株未満の端数は、これを切り捨てるものとする。

$$\text{調整後付与株式数} = \text{調整前付与株式数} \times \text{株式分割・併合の比率}$$

調整後付与株式数は、株式分割の場合は、当該株式分割の基準日の翌日以降、株式併合の場合は、その効力発生日以降、これを適用する。ただし、剰余金の額を減少して資本金又は準備金を増加する議案が当社株主総会において承認されることを条件として株式分割が行われる場合で、当該株主総会の終結の日以前の日を株式分割のための基準日とする場合、調整後付与株式数は当該株主総会の終結の日の翌日以降、当該基準日の翌日に遡及してこれを適用する。

また、上記のほか、付与株式数の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときは、合理的な範囲で付与株式数を調整する。

また、付与株式数の調整を行うときは、当社は調整後付与株式数を適用する日の前日までに、必要な事項を新株予約権原簿に記載された各新株予約権を保有する者（以下、「新株予約権者」という。）に公告又は通知する。ただし、当該適用の日の前日までに公告又は通知を行うことができない場合には、以後速やかに公告又は通知するものとする。

#### 4. 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

各新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、新株予約権を行使することにより交付を受けられることができる株式1株当たりの払込金額を1円とし、これに付与株式数を乗じた金額とする。

#### 5. 新株予約権を行使することができる期間

平成23年7月16日から平成43年6月30日まで

#### 6. 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する事項

(1) 新株予約権の行使により株式を発行する場合、増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果生じる1円未満の端数は、これを切り上げるものとする。

(2) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本準備金の額は、上記(1)記載の資本金等増加限度額から上記(1)に定める増加する資本金の額を減じた額とする。

#### 7. 譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による新株予約権の取得については、当社取締役会の承認を要するものとする。

#### 8. 新株予約権の取得条項

以下の(1)、(2)及び(3)の議案につき当社株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要の場合は、当社の取締役会決議の決定がなされた場合）は、取締役会が別途定める日に、当社は無償で新株予約権を取得することができる。

(1) 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案

(2) 当社が分割会社となる分割契約若しくは分割計画承認の議案

(3) 当社が完全子会社となる株式交換契約若しくは株式移転計画承認の議案

#### 9. 組織再編における新株予約権の消滅及び再編対象会社の新株予約権交付の内容に関する決定方針

当社が、合併（当社が合併により消滅する場合に限る）、吸収分割、新設分割、株式交換又は株式移転（以上を総称して以下、「組織再編行為」という）をする場合において、組織再編行為の効力発生の直前において残存する新株予約権（以下、「残存新株予約権」という）の新株予約権者に対し、それぞれの場合につき、会社法第236条第1項第8号のイからホまでに掲げる株式会社（以下、「再編対象会社」という）の新株予約権を以下の条件に基づきそれぞれ交付することとする。この場合においては、残存新株予約権は消滅し、再編対象会社は新株予約権を新たに発行するものとする。ただし、以下の条件に沿って再編対象会社の新株予約権を交付する旨を、合併契約、吸収分割契約、新設分割計画、株式交換契約又は株式移転計画において定めた場合に限るものとする。

(1) 交付する再編対象会社の新株予約権の数

残存新株予約権の新株予約権者が保有する新株予約権の数と同一の数をそれぞれ交付するものとする。

(2) 新株予約権の目的である再編対象会社の株式の種類

再編対象会社の普通株式とする。

(3) 新株予約権の目的である再編対象会社の株式の数

組織再編行為の条件等を勘案の上、上記3. に準じて決定する。

(4) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

交付される各新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、以下に定める再編後払込金額に上記(3)に従って決定される当該各新株予約権の目的である再編対象会社の株式の数を乗じて得られる金額とする。再編後払込金額は、交付される各新株予約権を行使することにより交付を受けられることができる再編対象会社の株式1株当たり1円とする。

(5) 新株予約権を行使することができる期間

上記5. に定める新株予約権を行使することができる期間の開始日と組織再編行為の効力発生日

のうちいずれか遅い日から、上記 5. に定める新株予約権を行使することができる期間の満了日までとする。

- (6) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する事項

上記 6. に準じて決定する。

- (7) 譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による新株予約権の取得については、再編対象会社の取締役会の決議による承認を要するものとする。

- (8) 新株予約権の取得条項

上記 8. に準じて決定する。

- (9) その他の新株予約権の行使の条件

下記 11. に準じて決定する。

#### 10. 新株予約権を行使した際に生ずる 1 株に満たない端数の取決め

新株予約権を行使した新株予約権者に交付する株式の数に 1 株に満たない端数がある場合には、これを切り捨てるものとする。

#### 11. その他の新株予約権の行使の条件

- (1) 新株予約権者は、上記 5. の期間内において、当社の取締役の地位を喪失した時、その地位を喪失した日の翌日（以下、「権利行使開始日」という）から 5 年を経過する日までの間に限り、新株予約権を行使することができる。

- (2) 上記(1)に関わらず、新株予約権者は、以下の①又は②に定める場合（ただし、②については、上記 9. に従って新株予約権者に再編対象会社の新株予約権が交付される場合を除く）には、それぞれに定める期間内に限り新株予約権を行使できるものとする。

- ①新株予約権者が平成 42 年 6 月 30 日に至るまでに権利行使開始日を迎えなかった場合

平成 42 年 7 月 1 日から平成 43 年 6 月 30 日

- ②当社が消滅会社となる合併で契約承認の議案、又は当社が完全子会社となる株式交換契約若しくは株式移転計画承認の議案につき当社株主総会で承認された場合（株主総会決議が不要な場合は、当社の取締役会決議の決定がなされた場合）

当該承認日の翌日から 15 日間

- (3) 新株予約権者が新株予約権を放棄した場合には、かかる新株予約権を行使することができないものとする。

#### 12. 新株予約権の払込金額

以下の算式及び基礎数値に基づき算出した 1 株当たりのオプション価格に付与株式数を乗じた金額とする。

$$C = Se^{-qT} N(d) - Xe^{-rT} N(d - \sigma\sqrt{T})$$

ここで、

$$d = \frac{\ln\left(\frac{S}{X}\right) + \left(r - q + \frac{\sigma^2}{2}\right)T}{\sigma\sqrt{T}}$$

- (1) 1 株当たりのオプション価格（ $C$ ）

- (2) 株価（ $S$ ）：平成 23 年 7 月 15 日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（終値がない場合は、翌取引日の基準値段）

(3)行使価格 ( $X$ ) : 1 円

(4)予想残存期間 ( $T$ ) : 10.5 年

(5)ボラティリティ ( $\sigma$ ) : 10.5 年間 (平成 13 年 1 月 15 日から平成 23 年 7 月 15 日まで) の各取引日の最終取引日における当社普通株式の普通取引の終値に基づき算出した株価変動率

(6)無リスクの利子率 ( $r$ ) : 残存年数が予想残存期間に対応する国債の利子率

(7)配当利回り ( $q$ ) : 1 株当たりの配当金 (平成 23 年 3 月期の実績配当金)

÷ 上記(2)に定める株価

(8)標準正規分布の累積分布関数 ( $N(\cdot)$ )

なお、上記により算出される金額は新株予約権の公正価格であり、当社は、割当の対象者に対し当該金額に相当する金銭報酬を支給することとし、当社に対する報酬請求権と新株予約権の払込金額の払込債務とを相殺するものとする。

13. 新株予約権を割り当てる日

平成 23 年 7 月 15 日

14. 新株予約権と引換にする金銭の払込みの期日

平成 23 年 7 月 15 日

15. 新株予約権の割当対象者及びその人数

会社法第 2 条第 15 号に該当する社外取締役を除く、当社取締役 10 名

以上